

あっ夏！緑のカーテンを作ろう！！

*ポイント その①

『土』を準備しましょう

- 土（野菜用の培養土）を30リットル用意
- 土に石灰をパラパラふる
- 牛糞（もしくは腐葉土）を約2リットル混ぜる
- 化成肥料を50グラム、有機肥料50グラムをパラパラし、混ぜる

- 急な寒さ・暑さ・乾燥を防ぎ苗を保護するため、敷きわらかチップで地面を覆う
- 土は多ければ多いほど育ちが良くなります。

注 追肥が必要です。たとえば、ハイポネックスを500倍に薄めて・・・

*ポイント その②

『ネットの準備』をします

園芸ネットは、窓を覆うくらいの大きさに目の粗いものを（10センチ角くらい）

*ポイント その③

植え付けは・・・

ゴーヤは特に太陽を好みます。日当たりの良い場所に植えましょう
朝日でも夕日でもOK！
苗はその日のうちに植えましょう！

- A プランターに植える場合は、深さのある容器（30cm以上）がおすすめです
※大きさの例
たとえば、30Lのプランター・幅66.5cm×奥行33cm×高さ28cm
土の量は縁から5cmぐらいまでたっぷりと入れます
- B 直接『庭』に植える場合は、地面を30cmぐらい掘りおこし
腐葉土と牛糞と化成肥料を良く混ぜましょう

○苗と苗の間は30cm離し、植えてください。

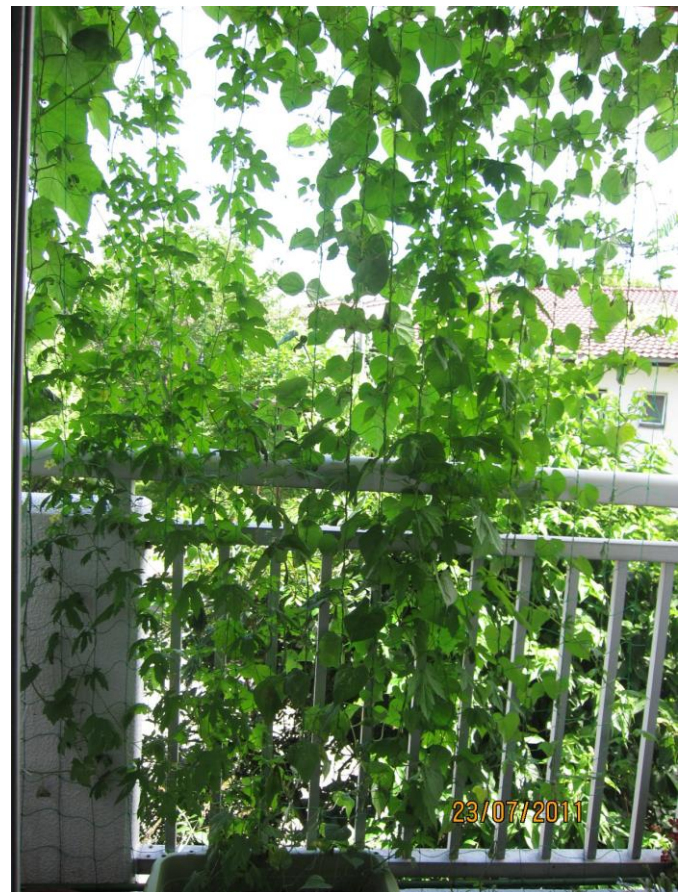
○種から育てる場合は、高めの温度が必要。20度から25度の温度が維持できる時期が確実です。6月になってからでも大丈夫です。

*ポイントその④

カーテンを作ろう

本葉が6枚から7枚になったら親づるや、子づるが出てきます。
つるを横へ『誘引』して、ネットに留めます。
手を添えて、つるをネットに軽くからませます。

ネットにからんだら、家の窓の大きさに合わせて幅をつくりましょう。
つるを横へ、上へ誘引を繰り返しカーテンを作っていきます





* 注意すること

朝夕の水やりが大切です

水がプランターの底から少し流れるくらいやりましょう。根付くまで（一週間くらい）は、朝夕2回、根付いたら1日1回でも大丈夫です。直接庭に植えた場合は、1日1回、朝か夕の水やりでOK。雨を頼りにせず、土の表面が乾いたら、水やりが必要です。

○ 増土（ましつち）

プランターに植えた場合、根が張り、プランターの土が少なく硬くなったら土を足します

追肥が必要です

ボカシや油かすや液肥などがいいでしょう。

下の方の葉が黄色くなったら、肥料が足りないというサインです。

* 種を採りましょう

ゴーヤはたくさんの種類があります。

長いもの、短いもの、白いもの・・・黄色くなったら完熟状態です。

実が割れたら赤い種が出来ています

ベトベトしているので、きれいに水洗いし、陰干しでよく乾かし、紙袋に入れて冷蔵庫で保存してください。来年用の種になります